

気候情報

2016年10月の日本の天候

- 東・西日本、沖縄・奄美では気温がかなり高かった
- 北日本では下旬に記録的な低温
- 西日本では月間日照時間がかなり少なかった

10月の天気概況

日本の南海上で高気圧の勢力が強く、湿った空気が流れ込みやすかったため、西日本中心に曇りや雨の日が多かった。特に西日本日本海側では、月間日照時間が年比66%となり、1946年の統計開始以来最も少なかった。

気温は、暖かい空気が流れ込みやすく西日本、沖縄・奄美では、月平均気温がそれぞれ年差+2.0°C、+2.1°Cとなり、1946年の統計開始以来最も高かった。

上旬：日本の南海上で太平洋高気圧の勢力が強く、日本付近には暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。このため、全国的に曇りや雨の日が多かった。気温は、東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高くなった。一方、旬の後半は、強い寒気の影響で北日本中心に低温となった。

旬平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高く、北日本では高かった。

旬降水量は、西日本日本海側ではかなり多く、北・東日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美では多かった。一方、東日本太平洋側では少なかった。北日本太平洋側では年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側ではかなり少なく、北・東日本日本海側、西日本では少なかった。北日本太平洋側、沖縄・奄美では年並だった。

中旬：冷涼な移動性高気圧が通過することが多かったため、北・東日本では晴れの日が多かった。沖縄・奄美では、前線や南から湿った空気が流れ込みやすかったため、曇りや雨の日が多かった。旬平均気温は沖縄・奄美ではかなり高く、東・西日本では高かった。特に沖縄・奄美では旬平均気温は、年差+1.9°Cと統計開始（1961年）以降最も高かった。

旬平均気温は、沖縄・奄美ではかなり高く、東・西日本では高かった。北日本では年並だった。

旬降水量は、沖縄・奄美では多かった。一方、北日本太平洋側ではかなり少なく、北・東日本日本海側では少なかった。東日本太平洋側、西日本では年並だった。

旬間日照時間は、西日本ではかなり少なかった。一方、北日本太平洋側ではかなり多く、東日本日本海側では多かった。北日本日本海側、東日本太平洋側、沖縄・奄美では年並だった。

下旬：北日本では、冬型の気圧配置が強まったため、日本海側では寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。西日本では南から湿った空気が流れ込んだため、曇りや雨の日が多かった。沖縄・奄美では旬平均気温は、年差+2.8°Cと統計開始（1961年）以降最も高かった。一方、北日本では、強い寒気が流れ込んだため、気温はかなり低かった。特に30日から31日にかけて強い寒気が流れ込み、北海道を中心に気温を観測しているアメダス334地点中44地点で日最低気

温が統計開始以来10月として最も低くなった（タイ記録5地点を含む）。

旬平均気温は、沖縄・奄美、西日本ではかなり高かった。一方、北日本ではかなり低かった。東日本では年並だった。

旬降水量は、西日本日本海側ではかなり多く、西日本太平洋側では多かった。一方、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美では少なかった。北日本日本海側、東日本太平洋側では年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本日本海側ではかなり少なく、東日本、西日本太平洋側では少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。北日本太平洋側では年並だった。

10月の気候統計

月平均気温：東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高かった。北日本では低かった。

月降水量：西日本日本海側ではかなり多く、西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。北日本太平洋側、東日本では少なかった。北日本日本海側では年並だった。

月間日照時間：北日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側、西日本でかなり少なく、東日本太平洋側で少なかった。東日本日本海側で年並だった。（気象庁観測部情報管理室）

10月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（°C）
福岡 21.3 那覇 27.7 など40地点
- ・月降水量多い方から（mm）
牛深 310.5
- ・月間日照時間多い方から（h）
広尾 232.7
- ・月間日照時間少ない方から（h）
山口 105.5、佐世保 119.0 など12地点

2016年10月の年差（比）図

